

第14回北海道胃瘻研究会

日時：平成28年11月19日(土) 13:00~17:00 (12:00受付開始)
場所：札幌コンベンションセンター 特別会議場
参加費：医師 3,000円 医師以外 1,000円



開会の辞 13:00~13:05 北海道胃瘻研究会 代表世話人 倉 敏郎 (町立長沼病院)

一般演題

セッション1 13:05~13:30 座長 札幌禎心会病院 中村 誠志

1. 失語症患者に対する経口移行アプローチ 洞爺温泉病院 藤岡 琴美ほか
2. 重度嚥下障害に対し頻回なVEに基づく嚥下訓練が有効であった1例 JCHO北海道病院 深山 未夢ほか
3. 嚥下造影と内視鏡下嚥下機能検査 中村記念病院 小西 正訓

セッション2 13:30~13:55 座長 時計台記念病院 長岡 康裕

4. 経管投与不適の患者に対するバルプロ酸ナトリウム坐剤の有用性の検討 栗山赤十字病院 瀧澤 昌司ほか
5. 経腸栄養用カテーテルにおける閉塞予防は何が適しているか? 洞爺温泉病院 水谷 一寿ほか
6. 医療安全を考慮した器材導入の効果:経鼻・経腸栄養患者への与薬にけんだくボトルを使用して 留萌市立病院 三住 恵美ほか

特別企画1 13:55~14:10 栄養関連の企業によるプレゼンテーションを行います

休憩 14:10~14:30 企業展示をご覧ください

セッション3 14:30~14:55 座長 清水赤十字病院 藤城 貴教

7. 胃の前面を巨大結腸が走行している症例に対しバルーン内視鏡および透視併用下PEGを行った一例 士別市立病院 佐藤 貴幸ほか
8. 南十勝でのPTEG普及に向けた活動について 帯広第一病院 酒井 俊ほか
9. 胃瘻造設後の早期死亡・長期生存に影響する臨床的因子の検討 宮の森記念病院 真崎 茂法ほか

セッション4 14:55~15:20 座長 中島病院 星 智和

10. 食道瘻栄養におけるとろみ状栄養導入の検討~液体栄養剤症候群の軽減を目指して~ 清水赤十字病院 伊藤 奈美ほか
11. 経管栄養を中心とした栄養補給を行っている患者に対する栄養管理~栗山赤十字病院の場合~ 栗山赤十字病院 真井 睦子ほか
12. 当院NSTの経腸栄養剤および内服薬のコスト面を含めた効果 函館五稜郭病院 目黒 英二ほか

特別企画2 15:20~15:35 栄養関連の企業によるプレゼンテーションを行います

休憩 15:35~15:55 企業展示をご覧ください

共催セミナー 15:55~16:55 司会 小田 寿 (釧路ろうさい病院)

「胃瘻の正しい使い方…経腸栄養」

大阪大学国際医工情報センター

栄養デバイス未来医工学共同研究部門 特任教授 井上 善文 先生

(共催:株式会社大塚製薬工場)

閉会の辞 16:55~17:00 第14回北海道胃瘻研究会会長 小田 寿 (釧路ろうさい病院)

共催:北海道胃瘻研究会、株式会社大塚製薬工場

後援:北海道医師会、札幌医師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、北海道在宅ケア事業団、北海道消化器内視鏡技師会

*本講演会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(4単位)として開催致します。

カリキュラムコード:2医療倫理臨床倫理 10チーム医療 12地域医療 22体重減少・るい瘦 47誤嚥 49嚥下困難 78脳血管障害後遺症 80在宅医療
生涯教育制度の単位取得には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

*本講演会は日本静脈経腸栄養学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(2単位)として開催致します。